

札幌学院大学は、「自律」「人権」「共生」「協働」という理念に基づき、一人ひとりの学ぶ権利と自由を尊び、障がいのあるなしにかかわらず誰もが共に・等しく・快適に学べる環境づくりに取り組んでいます。札幌学院大学の「障がい学生の受入れ及び支援に関する基本方針」及び「障がい学生支援ガイドライン」は下記をご覧ください。

<https://www.sgu.ac.jp/campuslife/accessibility/houshin.html>

<https://www.sgu.ac.jp/campuslife/accessibility/guideline.html>

## 困っていませんか？

- ・授業中の発話が聞き取りづらい
- ・配布資料や板書が見えにくい
- ・移動に介助が必要
- ・高校から支援を受けていた

## 相談窓口

江別キャンパス: サポートセンター(C館2F)

新札幌キャンパス: 学生支援課

## サポートセンターでの相談

- ・肢体不自由、視覚障がい、聴覚障がい、発達障がい、精神障がい、内部障がい、性別違和などで、修学上の困難を抱えている方。
- ・一時的な怪我、疾病による修学上の困難や、まだ診断を受けていないが、発達障がい特性や精神的不調のため修学上の困難を抱えている方のご相談もお受けしています。
- ・本人に関わる保護者、教職員のご相談もお受けしています。
- ・在学生のみならず、本学を志望している高校生、保護者、学校関係者のご相談もお受けしています。



札幌学院大学

SAPPORO GAKUIN UNIVERSITY



江別キャンパス: サポートセンター



新札幌キャンパス: 学生支援課

## お問い合わせ

E-mail [shien@ims.sgu.ac.jp](mailto:shien@ims.sgu.ac.jp)

TEL 011-375-8567(サポートセンター直通)

011-386-8111(大学代表)

【江別キャンパス】

〒069-8555 江別市文京台11番地

【新札幌キャンパス】

〒004-8666 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1

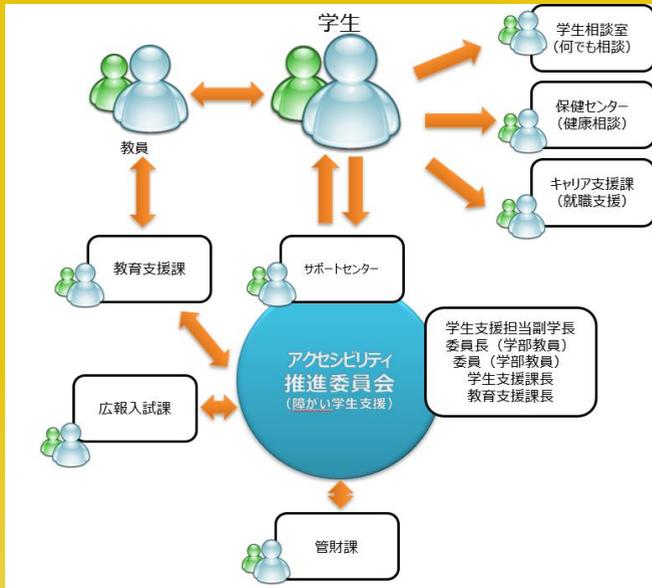
# 障がい学生支援ガイド

札幌学院大学は

誰もが共に・等しく・快適に学べる

環境づくりに取り組んでいます。

## 障がい学生支援体制



## 支援内容の例

視覚障がい	教材のテキストデータ化、拡大、代筆、代読
聴覚障がい	ノート・PCテイク、手話通訳、映像資料への字幕
肢体不自由	座席の調整、ポイントテイク、教室移動介助、雪道通学介助
発達障がい	重要事項の視覚化、ピアサポート社会移行支援
精神障がい	座席指定、休憩室確保
内部障がい	座席指定、休憩室確保
全ての障がい	定期試験配慮（別室・時間延長）、就職支援

## 相談から支援への流れ

- 1 サポートセンターへの相談**  
 修学上の困りごとと支援希望を伺います。利用登録書、根拠資料（診断書等）による申請。
- 2 アクセシビリティ推進委員会と関係部署との協議**
- 3 合理的配慮の決定と通知**
- 4 配慮願いの確認のための面接**
- 5 合理的配慮の実施**
- 6 配慮内容の状況確認と評価面接**  
 定期的に状況確認のために面接をします。合理的配慮の内容の変更は、随時相談に応じます。

### 合理的配慮

障害のある人が教育、就業、社会生活を送る上で妨げとなる社会的障壁を取り除くために、それぞれの障害特性や困りごとに合わせて行われる必要な変更及び調整のこと。本人と大学側が共に考え、合意形成の上、決定するものです。障害者差別解消法により、可能な限り提供することが、行政・学校・企業などの事業者に求められるようになりました。

## 定期試験時の配慮について

障がいのある学生に対して、定期試験時に別室受験、試験時間延長、問題用紙等の拡大、パソコンの使用許可などの配慮を行っています。配慮申請は教育支援課窓口にて受け付けます。

## 入試における配慮について

病気、負傷や障がい等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品などについての配慮を希望される方は、事前に広報入試課（A館2階）までご相談ください。

広報入試課  
 Email:nyusi@ims.sgu.ac.jp  
 広報入試課 TEL:0120-816-555  
 （入試フリーダイヤル）

## 支援学生について

本学の障がい学生支援の始まりは学生達が自主的に立ち上げたバリアフリー委員会でした。その後、教職員組織としてのアクセシビリティ推進委員会が設置され、現在に至っています。学生同士の相互扶助、成長の気風は受け継がれ、障がいのある学生への情報保障、通学介助などの必要な支援等に直接関わっているのは、多くの在学学生たちです。テイク技術を学ぶための講習会、介助の講習会、手話の勉強会なども行います。初めての方でも技術を身につける機会はたくさんあります。支援活動を行うと、大学で定める謝金が支給されます。サポートセンターでは、支援学生（アクセシビリティ・学生スタッフ）を随時募集しています。



授業でのパソコンテイク



大学行事でのパソコンテイク

本学の障がいのある学生への支援内容などについては、以下のWebサイトをご覧ください。

<http://www.sgu.ac.jp/campuslife/accessibility/shien.html>

